

2022年1月17日

各位

会社名 株式会社ジェイテックコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 津村尚史
(コード番号：3446 東証第一部)
問合せ先 取締役 管理部長 平井靖人
(TEL. 072-655-2785)

日本複数大型放射光施設からの 当社“Osaka Mirror”大型受注のお知らせ

当社はこの度、2023年完成予定の東北大学の第4世代放射光施設S LiT-Jおよび世界3大大型放射光施設の1つであるS Pring-8等、国内の放射光施設から各種超高精度ミラーを受注いたしました。

受注総額は約4億円であり、2021年6月と11月にそれぞれ公表しました、米国シカゴのアルゴンヌ国立研究所(Argonne National Laboratory: ANL)の大型放射光施設AP S (Advanced Photon Source)、および中国北京市の中国科学院高能物理研究所(Institute of High Energy Physics Chinese Academy of Science: IHEP)の大型放射光施設HEPS (High Energy Photon Source)に続くものであります。

このような大型受注の背景として、各国がグリーンエネルギーや半導体産業を国家戦略として強化する中、多様な地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)において、究極の分析・解析を可能とする放射光施設やX線自由電子レーザー施設がコアな機関として位置づけられ、コロナ禍以前と変わらない高いレベルのサイエンスとテクノロジーの創出が期待されていることがあると考えております。

当社は、ナノ領域での観察や制御の高精度化、効率化のキーテクノロジーとなる当社X線ミラーのより一層の高精度化や新規開発につとめ、技術開発やイノベーションを支援してまいります。

例えば、理化学研究所(理研)放射光科学研究センターと高輝度光科学研究センター(JASRI)における、持続可能な開発目標(SDGs)や2050年カーボンニュートラルの実現に向けた産官学利用者の研究開発活動の支援に対して、当社はその一助となるように環境にやさしい持続可能な産業をつくることを支援し、我が国のこれからの発展に貢献してまいります。

※【世界 3 大大型放射光施設】

第 3 世代と呼ばれる放射光施設とは、専用の加速器にアンジュレータ主体の挿入光源を多数設置できるように設計された施設のことであり、特に大型放射光施設と呼ばれるものとして、SPring-8（日本）、APS（アメリカ）、ESRF（フランス）の 3 つがあります。2000 年以降、この世界 3 大大型放射光施設の他に中大型の放射光施設が欧米、アジア、南米の各国で建設され、放射光施設の利用がますます拡大しております。

※【第 4 世代放射光施設】

従来のダブルバンドから、マルチバンドへと進化した放射光施設で、光の明るさが従来の第 3 世代放射光施設と比べて 100 倍以上となり、コヒーレンス性も高まるため、これまでにない新しい研究成果の取得が期待されています。

以 上